

第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の  
東京招致に関する決議

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、世界最大規模のスポーツの祭典であり、これまでも人々に大きな感動を与え、人類の相互理解と国際平和の実現に貢献してきた。とりわけ日本人選手の活躍は、世界にわが国の存在感を強力にアピールするとともに、国民に夢と希望を与えてきた。

1964年に開催された第18回オリンピック東京大会は、わが国が戦後の混乱と荒廃から復興し、国際社会で経済大国へと飛躍を遂げた時代の象徴として歴史に刻まれている。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、巨大津波による自然災害や原子力発電所事故等、未曾有の複合災害を惹き起こし、わが国に甚大な被害をもたらした。

現在、国民が一丸となって被災地の復旧・復興に向けて全力で取り組んでいるところであるが、再生への道はなお遠く険しく、その過程において、国民が心を奮い立たせ、一つになれる夢を持つことが必要である。

再び東京でオリンピック、パラリンピックを開催することは、わが国が東日本大震災からの復興と再生を成し遂げるため、国民の心を一つにするシンボルとなるものである。また、9年後に輝きを取り戻した日本の姿を世界に示すことは、大震災に際して世界中から寄せられた多大な支援に対し何よりの謝意を伝えることとなる。さらに、次代を担う若者に夢と希望を贈るためにも、わが国の将来にとって大きな価値がある。

また、東京においては、国民体育大会と全国障害者スポーツ大会を一つの祭典として開催する「スポーツ祭東京2013」に向けての取り組みが進んでいる。このような時期に、オリンピック、パラリンピックを招致することは意義のあることである。

よって、稲城市議会は、2020年開催の第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成24年3月28日

稲城市議会議長 田中 繁夫